

# 世の中のスキマをうめる 保健医療活動について

山梨市立牧丘病院  
古屋 聡

# 私は、

- 主として山梨県東山梨地域と宮城県気仙沼市周辺で活動する医師です。
- 山梨では30床の地域小病院の院長として、外来・在宅・入院診療を行っています。
- 東日本大震災では2011/3以来、月1-2回、気仙沼周辺に赴いて活動しています。

既存サービスのスキマをうめる  
保健医療活動  
についてコメントします。

# 予防・健診型

- 健康サロン、さまざまなカフェ的取り組み
- たとえば、ケアプロのセルフ健康チェック

※石巻(牡鹿半島)の地域づくりコーディネート  
事業・リハビリ支援事業

# 相談者を既存サービスにつなぐ活動 (相談室、訪問)

- 暮らしの保健室
- 一般社団法人みんなの健康サロン海尻  
(キャンナスわじま)
- 在宅連携サポートまきおか(東山梨医師会事業)

※石巻の保健医療コーディネータ

# 既存サービスでは不足する 訪問活動

- 暮らしの保健室
- キャンナス  
    たとえば(キャンナスわじま)
- 在宅連携サポートまきおか(東山梨医師会事業)

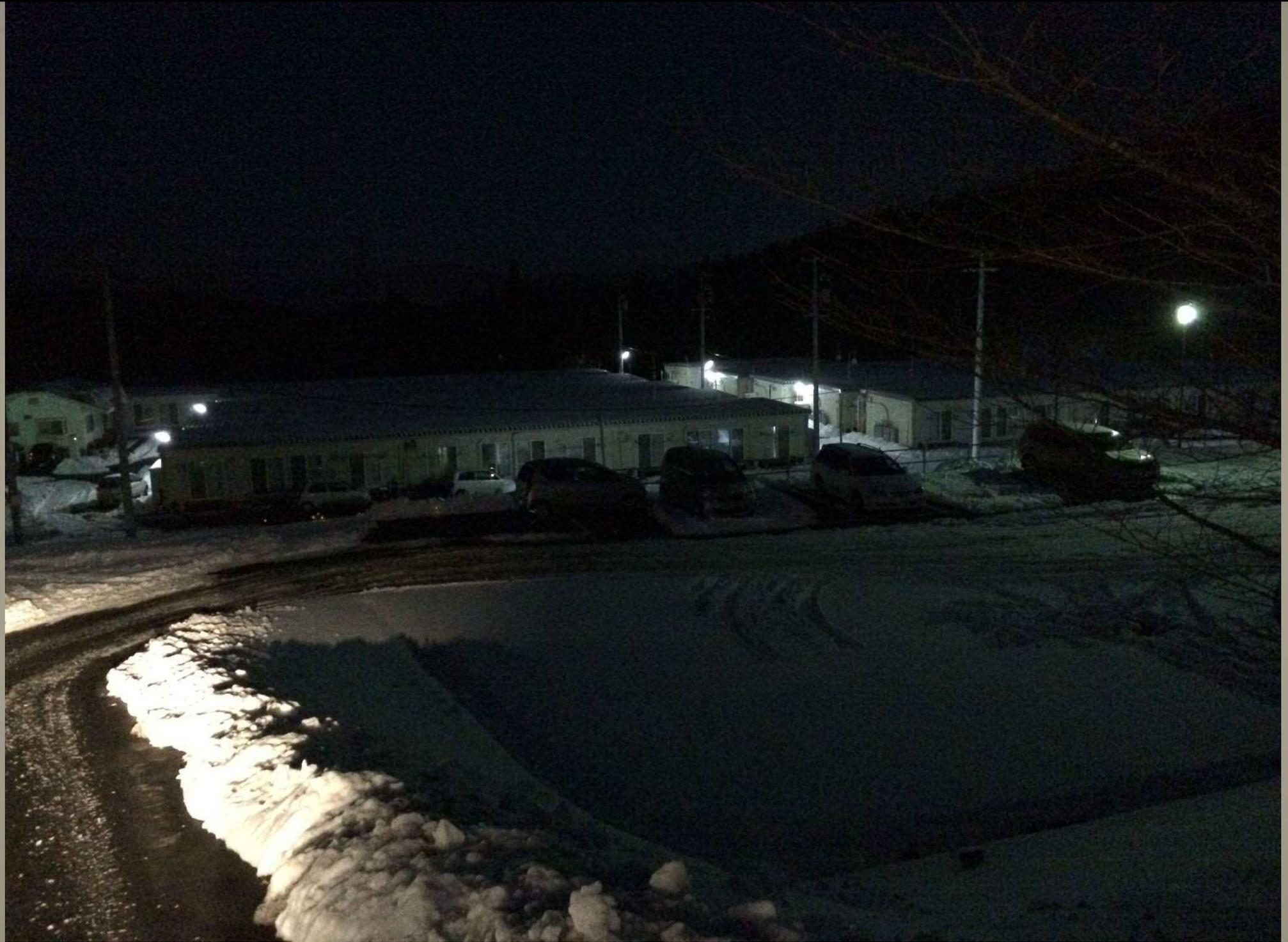
※石巻の保健医療コーディネータ

# エンドオブライフを 支える活動

- ホームホスピス活動(かあさんの家)
- 在宅連携サポートまきおか(東山梨医師会事業)

## 被災地 たとえば気仙沼 (2015/4現在人口67000 )では

- 震災前 高齢化率30%
- 2014/6末現在の仮設住宅入居者数9300
- 2015/2からはじめて！の復興住宅入居
- はじめての復興住宅(南郷住宅)では高齢化率50%超！





 **南鄉住宅**  
氣仙沼市復興住宅

いきなり市内に限界集落！

## 相談事業はあっても

(仮設住宅: 応急仮設住宅入居者等サポートセンター

このチームには医療職あり

復興住宅: 高齢者相談室

生活相談員はいるが(写真の佐藤さん)医療職なし

直接訪問できる保健医療職が足りない。



気仙沼に  
保健医療職の  
余裕はあるのか？

仮設住宅→復興住宅

の移行支援は？

# 介護予防・日常生活総合支援事業 在宅医療・介護連携

はどーなる？

# 石巻では

- ・地域づくりコーディネート事業
  - ・保健医療コーディネート事業
  - ・リハビリテーション相談支援事業
- が
- 介護予防・日常生活総合支援事業

につながっていきそう？

5年の歳月をかけて  
地域に根付く

がんばれ 野津！

気仙沼も  
応援したい！